

令和3年10月31日執行
衆議院小選挙区選出議員選挙

鳥取県第2区選挙公報

鳥取県選挙管理委員会



比例代表も 自民党へ

赤沢りょうせいプロフィール

昭和35年12月 赤沢正道(元自治大臣)の孫として生まれる
昭和59年 3月 東京大学法学部卒業
昭和59年 4月 運輸省(現国土交通省)入省
平成 3年 米国コーネル大学経営学修士(MBA)取得
平成 6年 8月 運輸省航空局監理部国際航空課補佐官(日米航空交渉担当)
平成 8年 4月 北海道企画振興部交通対策課長
平成11年 6月 運輸省大臣官房文書課企画官(海上技術安全局、日本財団担当)
平成13年 7月 国土交通省大臣官房秘書課企画官
平成16年 7月 日本郵政公社郵便事業総本部国際本部
海外事業部長(物流戦略担当)
平成17年 9月 第44回衆議院議員総選挙に鳥取2区から立候補、初当選
平成21年 8月 第45回衆議院議員総選挙において小選挙区で当選(2期目)
平成24年12月 第46回衆議院議員総選挙において小選挙区で当選(3期目)
国土交通大臣政務官に就任
自民党国土交通部会長に就任
平成26年 9月 内閣府副大臣に就任
平成26年12月 第47回衆議院議員総選挙において小選挙区で当選(4期目)
平成26年12月 内閣府副大臣に再任
平成28年 1月 衆議院環境委員会に就任
平成28年10月 第48回衆議院議員総選挙において小選挙区で当選(5期目)
令和 2年 9月 3度目の内閣府副大臣に就任(新型コロナ、経済財政・成長戦略、
防災・国土強靱化、領土問題など担当)



赤沢りょうせい ホームページ
<https://www.ryosei-akazawa.com>

国民にしっかりと説明する政治

日本国のため、地元鳥取県民のために、全身全霊をかけて
「国民にしっかりと説明する納得と共感の政治」を実現します。



自民党公認・前内閣府副大臣

あかざわ
赤沢りょうせい

内閣府副大臣として取り組んだ主な実績

新型コロナウイルス担当副大臣として予算とワクチンを確保

□ワクチン接種の促進、医療提供体制の確保、人流抑制など感染対策の二本柱に全力
□鳥取県や市町村によるコロナで苦しむ事業者の皆さまへの支援の原資などとして
地方創生臨時交付金の配分に尽力
□ワクチン接種の円滑な推進に尽力

防災担当副大臣として激甚災害指定

□鳥取県などが被災した七、八月の大雨による災害を激甚災害に指定し、国の
補助率拡充(Ⅱ地元負担の大幅減)に尽力
□現場重視の観点から、被災地域を可能な限り視察(鳥取、島根、鹿児島、長野など)

経済財政担当副大臣としてインフラ整備の予算を確保

□骨太方針の四本柱(Ⅲ)の「地方」を明記し、「鳥取からの地方創生」を推進
(注：(四本柱とは、①グリーン、②デジタル、③子ども子育て、④地方)※コロナに
よる国民の意識変化とデジタルの加速による全く新たな地方の時代(Ⅱ)「シン
地方創生」を先取り！
□県民のためにも、令和三年九月以降に追加の経済対策を立案、実施！
□地元をはじめとする地方の社会基盤整備の推進、予算の確保、拡充に尽力

国土強靱化担当副大臣として国土強靱化予算を確保

□防災・減災(国土強靱化三か年緊急対策(約七兆円)終了後、五か年加速化対策
(約十五兆円)を取りまとめ
□①気候変動、大規模地震などへの対応②既存のインフラの老朽化対策③デジタル
技術など最新の科学技術の活用、イノベーションの導入を三本柱に全力
□防災立国(毎年五兆円を防災技術の研究開発に投入)などを経済成長戦略の柱に！

領土問題担当副大臣として「重要土地等調査法」を制定

□安全保障体制の確立や鳥取県民の安全・安心のためにも、米子駐屯地、美保基地
など自衛隊基地、原子力発電所の周辺や国境離島などの土地の利用を規制する
「重要土地等調査法」を立案し、成立させた。

地元の社会地盤整備 の取り組み

◎米子駅南北一体化

◎米子道全線4車線化

◎山陰道北条バイパス事業

◎米子安倍三柳線一部開通

◎江府三次道路事業

◎境夢みなとターミナル整備
事業

◎境港高度衛生管理型漁港・
市場整備

◎法勝寺川青木地区や日野川
上細見地区などの河川改修

◎農業・農村整備(土地改良)や
森林整備の推進 など

私は9年3,270日、街頭に立ち訴え続けてきました。

政治は、政治家や大企業、お金持ちのためではなく、 国民の暮らしを守るためにあります。

- コロナ対応では、困窮する方や事業者への支援を最大限します。
- 東京一極集中から地方を大切に国づくりへ変えます。
- 所得格差の連鎖・固定化を止め、子どもの貧困を解消します。
- 中小零細企業が負担する社会保険料等を軽減し、中小零細企業を応援します。
- 農家の戸別所得補償制度を復活し、農家と農村を守ります。
- 小中学校の給食費無償、給付型奨学金制度など、教育の無償化を図ります。
- 基礎年金は減らさず、老後の不安を解消します。
- 自然エネルギーを最大限導入し、原発に頼らない社会を目指します。

比例代表は立憲民主党へ

湯原俊二
公式 twitter

twitter.com/knskyghfplmsb



湯原俊二の経歴

○1962年(昭和37年) 専業農家に生まれる
○米子東高校、早稲田大学卒業
○28歳で米子市議会議員に
○32歳で鳥取県議会議員に、以後4期当選
○2009年 衆議院議員に
○現在 立憲民主党鳥取県第2区総支部長



立憲民主党公認

ゆはら
湯原俊二
じ

自民党の政治と湯原俊二の目指す政治の違い

自民党	湯原俊二
●昔と違い、政治でお金持ちをよりお金持ちにしている	●政治を、劣勢にある地域や人々のためにする
●大都市、大企業を優先の政治	●地方や中山間地域、中小零細企業、農林水産業を大切に
●東京一極集中の政治	●財源や権限を地域に移し、地域でまちづくりを決定する
●目先の利益、経済を優先する政治	●国民の暮らしを守り、生活不安や老後の不安を取り除く
●女性蔑視の発言など人権をないがしろにしている人がいる	●子育て・教育、雇用、年金・医療・介護を優先する政治
●家族観など画一的な価値観を重視している	●希望する人は非正規雇用を正社員にする
●日本学術会議では考えの違う者を排除した	●人権を尊重し、多様性を認め、共生する政治
●財政、環境、社会保障など今さえ良ければいいという姿勢	●熟議し少数派の意見も取り入れる政治
●政治を私物化している	●財政、環境、社会保障など持続可能性を追求する
●政権の都合のいいように公文書を改ざん、隠ぺい、廃棄する	●次世代に対して責任を負う政治
●国民の疑念、疑問に説明責任を果たさない	●公平公正な政治をする
●憲法解釈変更、安保法制で、自衛隊の海外展開が可能に	●公文書の管理の徹底
	●国民に説明責任を果たす。国民にとって透明性高い政治にする
	●専守防衛で近隣諸国と国際協調を図る外交にする
	●憲法9条は守る

投票日 10月31日(日)

(投票時間は、午前7時から午後8時までの投票所と、これと異なる投票時間の投票所
がありますので、お住まいの市町村選挙管理委員会のお知らせ等でご確認ください。)

期日前投票 10月20日(水)～10月30日(土)

(期日前投票ができる日時は、期日前投票所によって異なりますので、お住まいの市町
村選挙管理委員会のお知らせ等でご確認ください。)

投票所の混雑を避けるため、期日前投票の積極的なご利用をお願いします。